

令和7年度 高松市地域学校協働活動【活動報告】

モデル校	古高松南小学校
地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)	1名 (主な役職) スクールソーシャルワーカー



1. 地域と学校が共に目指している事

- ・学校経営方針である「一人ひとりの子どもを大切にした教育の推進を図り、子どもたちが充実した学校生活を送ることができる」ように、教職員だけでなく地域の人たちとの協働を図りながら、子どもたちの育成を地域全体で行う。

2. 活動の内容

【第1回】4月19日(土)

4月の学習参観、校長学校経営説明、PTA 総会に参加

- ・高松市地域学校協働活動モデル事業の説明(コーディネーターより)

【第2回】9月11日(木)

9月の学習参観、任命書交付

- ・1学期の取組について

【第3回】2月13日(金)

2月の学習参観

- ・来年度の学校経営方針承認
- ・次年度の委員依頼と組織づくり

3. 今年度の成果

- ・ 人権に視点を当てた授業参観の感想についての意見交流ができた。
- ・ 校内や教室の掲示環境が整っているとご意見をいただきました。
- ・ 学校からの下校の交通安全面に課題があることをお聞きすることができ、校内で、一斉指導につなげた。
- ・ 生活科や総合的な学習の時間の学習成果の発表会を参観した後、今年度の教育活動や学校運営協議会の取組みについて協議をした。6年生代表児童から、お世話になっている委員の皆様へ感謝の気持ちを伝えるため、メッセージカードと手作りの和三盆糖をプレゼントした。

4. 次年度に向けての課題

- ・ 地域と連携した教育活動を推進するために協議内容の工夫や活性化
- ・ 共助の意識向上を目指して、地域合同防災学習を地域住民の防災体験の場にするために地域や保護者への啓発
- ・ 学校の施設管理、児童の安全管理、教育活動や学校行事へ地域や保護者の支援を活用
- ・ 児童の意見を反映する仕組みづくりや、教職員と保護者の当事者意識の向上



地域学校協働活動

コーディネーター

1. コーディネーターの主な活動内容

No	項目	内容
①	古高松南小学校のサポーター	・学校行事や昼休みなどにおいて、子どもたちと一緒にサポーターが活動してくれている。 ・登録者は20名程度ではあるが、米作り体験、昼休みの見守り活動やクラブ活動のサポート、家庭科や図工の授業等に参加してくれている。 ・サポーターの方と分かるようにビブスを用意し、子どもたちからも、誰がサポーターなのかが分かるようになった。
②	地域学校協働活動ニュースレター発行	・コーディネーターが地域学校協働活動等を紹介する広報紙（A4:2枚程度）を作成し、令和6年度、7年度とも2回発行した。令和7年度は、地域を理解するため、子どもや地域から情報収集活動を行っている。
③	学校・家庭・地域をつなげる地域合同防災学習	・防災学習の参観と、地域の自主防災組織等を中心とした協働の防災訓練を毎年実施している。 ・地域からはコミュニティ協議会が中心となって、連合自治会、青少年健全育成連絡協議会、東消防署、地区消防団、地区自主防災連合会、女性防火クラブ、日赤奉仕団、地区交通安全推進協議会の代表者を集め、実施内容や分担を協議した。 ・当日の実施に向け、自主防災連合会を窓口連絡調整して実施できた。



2. 苦労したことや、今後解決しようと考えている事

- ・学校のニーズに応じたサポーターを十分に募集することができない状況も生じたり、活動の延期や中止等に柔軟に連絡調整等が難しかったりする場合がある。
- ・自分自身がまだ十分に地域を理解できていない・繋がっていないところもあるので、地域の方に教えてもらいながら、少しずつでもそれを解消し、取り組む状況を創っていききたい。

3. 成果・効果

- ・ニュースレターやサポーター登録の体制を少しずつ構築はしているところである。
- ・学校サポーターの存在等に関して、地域や保護者等からも話を聴く機会もあるので、「地域学校協働活動」を少しずつ知ってもらうことに繋がっているのではないかと感じている。

4. これまでの活動全般を通して感じていることや、今後の展望など

- ・子どもたち自身の思いや活動を確認することや、地域を理解して地域の声もきくことをしながら、学校と地域とが Win-Win の関係を構築して、子育てを、子どもと共に行っていける状況に少しでもつなげていきたい。
- ・そのためにも、まずは、地域や子どもたちの思いを理解することも活動に取り入れていきたい。

学 校

1. 成果・効果と今後の見通し

- ・推進員からのサポーター募集や、活動状況を紹介するニュースレターの情報発信により、学習サポーターの参加人数も大きく増えた。引き続き、ニュースレターや学校だより等で、地域学校協働活動の意義や様子を発信し、さらに保護者や地域の理解と協力を促進していきたい。
- ・学校と地域の間をつなぎ、地域念願のもちつき行事の復活に大きく貢献した。行事は盛大に実施でき、学校担当者や児童の負担は大幅に軽減できた。
- ・地域合同防災学習が4年目を迎え、防災学習参観と地域の自主防災組織等を中心とした防災訓練も定着し、一定の成果を得た。今後は、地域住民や保護者の参加促進を課題とし、防災意識の高揚とよりよい地域づくりにつなげられるよう活動を継続していく。
- ・子どもたちが地域に誇りをもてるよう、地域の自慢を探す取組を提案し、児童や保護者、地域住民へ呼びかけた。その結果を集約し、児童が地域のよさを実感できる形にして、「高松まるっとマップ」への登録につなげていきたい。
- ・地域学校協働活動や学校運営協議会に教職員の担当者を配置することで、教職員の理解と地域人材や資源を活かしたカリキュラムづくりを強化していきたい。